

[地域] [団体名]

庄内 藤倉山ブナ林保存会

[活動地]

鶴岡市三瀬地区
やまがた百名山 藤倉山

団体 紹介



鶴岡市三瀬地区の農林業・水産業を支える藤倉山のブナ林の大切さを後世に引き継ぐために活動している。2023年山の専門誌「山と深谷」9月号に、「ブナ林の急登から日本海の大観広がる山頂へ」の表題で、藤倉山が紹介された。執筆者の打田眞一氏が取材時には会員が同行した。



「二口登山道の環境整備」 実施日：令和5年4月23日(日)



活動内容

学習会を安全に行うため、山形大学農学部先生や学生たちも参加して二口登山口から急坂までの登山道に繁茂した笹などの草刈りや倒木の伐採を行った。

「ロープ交換と仮設トイレの補修」 実施日：令和5年5月2日(火)



活動内容

見晴台直下のロープを以前の細めから握りやすい太めのロープに交換した。ビニルシートを用いて、山頂の女性用仮設トイレの補修を行った。ロープは事前に荷揚げしておいた。

「春の学習会」 実施日：令和5年5月7日(日)



活動内容

予定していた閉山祭は雨で中止になった。三瀬コミュニティセンターを会場にして地区民が集い学習会を行った。講師の山形大学農学部の菊池先生から森林の大切さ、森林復活の方法やボランティアを募って行う登山道整備の仕方を学んだ。参加者は22人。

「ロープの荷揚げ」 実施日：令和5年6月25日(日)



活動内容

学習会を安全に行うため、環境整備の下準備として、藪を刈りながら太めのロープ(30m3本)の荷揚げを行った。

「登山道の環境整備」 実施日：令和5年9月10日(日)



活動内容

秋の学習会に向けての環境整備を行った。稜線で足場の危険箇所の樹木伐採や草刈りには森林組合員の協力をもらい、獅子畑・二口登山道の稜線を整備した。また、急登などのロープ交換も行った。

「秋の学習会」 実施日：令和5年11月5日(日)



活動内容

藤倉山で秋の学習会(藤倉山が地域にもたらす恩恵・閉山祭登山を山形大学農学部の留学生(アフリカ・東南アジア・南米)、県内各地や近県から総勢50人を超える参加者で行った。

「植樹体験」 実施日：令和5年11月12日(日) 事前準備・令和5年12月14日(木) 植樹体験



活動内容

地元の三瀬保育園の園児たちが楽しく植樹体験が出来るように11月12日に事前準備を行い、12月14日、園児25人を含め33名参加して植樹体験を行った。

活動を行っての感想

- 登山道の整備を行ったことで「秋の学習会」・「閉山祭登山」などが参加者の怪我もなく終える事が出来た。
- 春や秋の学習会を通して藤倉山が果たす役割を学ぶことが出来た。
- 学習会、環境整備には山形大学の学生、留学生にも参加頂き有意義な交流が出来た。
- 植樹を行った二口登山口駐車場の整備には地元住民の土木専門力を得て、未来につながる自然環境を守り、森林づくりをする子供たちの貴重な植樹体験となった。植樹体験をして頂いた三瀬保育園園児の元気な声が響き、山の木々などに興味をもつ姿をみて今まで会として活動して来て良かったと感じた。
- 登山道整備中にクマやイノシシに遭遇し、今年の山の異常な状態を感じた。